

2024年度前期 市民開放授業 募集案内

目次

I	実施形態	2
II	受講手続き	3
	◎ 対面授業	3
	◎ オンライン授業	5
III	受講に際して	7
IV	「市民開放授業一覧」について	8
	市民開放授業一覧	10
	◎ 前期開放授業	
	・松本キャンパス	
	全学教育センター	
	人文学部	
	経法学部	
	理学部	
	医学部保健学科	
	・長野（教育）キャンパス	
	教育学部	
	・長野（工学）キャンパス	
	工学部	
	・伊那キャンパス	
	農学部	
	・上田キャンパス	
	繊維学部	

信州大学では、学生に開講している通常の授業を可能な限り開放し、学生と一緒に受講したいと思う一般市民の方々を受講生として募集します。

これは大学開放活動の一環で、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としたものです。

受講するにあたっては、受講生として登録が必要になります。本学の学生や教職員とキャンパス・ライフをお楽しみください。

I 実施形態

■ 開講期間等

- ・ 前期開講期間 4月から7月まで
※休業日・振替授業日等があります。必ず[「1. 学年暦」](#)をご確認ください。

- ・ 授業開始日
前期授業開始日 **【教育学部以外】** 4月10日（水）
【教育学部】 4月5日（金）

- ・ 授業時間 **【教育学部，繊維学部以外】**

時 限	1	2	3	4	5	6
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50	18:00～ 19:30

- ・ 授業時間 **【教育学部 100分授業】**

時 限	1	2	3	4	5	6
時 間	8:40～ 10:20	10:30～ 12:10	13:00～ 14:40	14:50～ 16:30	16:40～ 18:20	18:30～ 20:10

- ・ 授業時間 **【繊維学部 100分授業】**

時 限	1	2	3	4	5
時 間	8:50～ 10:30	10:40～ 12:20	13:10～ 14:50	15:00～ 16:40	16:50～ 18:30

■ 開放授業，受講学部，講義室等

「市民開放授業一覧」（10 ページ）のとおりです。一覧に掲載していない授業は、受講できません。

講義室は[「2. 講義室案内図」](#)をご確認ください。

■ 募集人数

募集人数は、「市民開放授業一覧」の「受入可能人数」欄に記載のとおりです。ただし、次のような場合は受講できないことがあります。

- (1) 本学の学生のみで教室の収容定員を超えた場合
- (2) 受入可能人数を超えた場合

■ 受講料

受講料は、原則1授業9,400円です。ただし、受講料が異なる授業は、「市民開放授業一覧」の「備考」欄に金額を記載しています。また、受講料以外に授業で使用するテキスト代、及び授業に係るその他の費用は、受講生のご負担となります。

なお、いったん納入された受講料は、返還できませんのでご了承ください。

■ 受講窓口

下記の各キャンパス受講窓口(☆)で、受講登録をしてください。

<登録受付時間> 8:30~17:00 (土日祝日を除く)

ご不明な点は下記の総合窓口までお問い合わせください。

- ◎ 松本キャンパス 〒390-8621 松本市旭3-1-1
☆市民開放授業 総合窓口 学務部学務課教務グループ
(共通教育第1講義棟 西校舎1F) TEL: 0263-37-2870

※ なお、授業に関してのお問い合わせは、下記各学部等の窓口へ

全学教育センター	学務部学務課 共通教育窓口	TEL: 0263-37-2978
人文学部	学務係	TEL: 0263-37-2280
経法学部	学務グループ	TEL: 0263-37-2304
理学部	学務グループ	TEL: 0263-37-3320
医学部保健学科	学務第2係	TEL: 0263-37-2357

- ◎ 長野(教育)キャンパス 〒380-8544 長野市西長野6のロ
☆教育学部 学務グループ TEL: 026-238-4057
- ◎ 長野(工学)キャンパス 〒380-8553 長野市若里4-17-1
☆工学部 学務グループ TEL: 026-269-5135
- ◎ 伊那キャンパス 〒399-4598 上伊那郡南箕輪村8304
☆農学部 学務グループ TEL: 0265-77-1309
- ◎ 上田キャンパス 〒386-8567 上田市常田3-15-1
☆繊維学部 学務グループ TEL: 0268-21-5311

■ 交通アクセス

各キャンパスまでのアクセス方法は、[「3. 交通アクセス」](#)をご覧ください。

II 受講手続き

- ◎ 対面授業の場合 対象授業は「市民開放授業一覧」(10ページ)を参照。

授業の概要を確認し受講授業を決定するため、試聴期間に試聴し、受講登録期間に受講登録をしてください。

【教育学部以外】

< 試聴期間 > 4月10日(水)～5月17日(金)

< 受講登録期間 > 4月17日(水)～5月17日(金)

※受講登録期間は、試聴期間の1週間後からになりますのでご注意ください。

【教育学部】

< 試聴期間 > 4月5日(金)～5月16日(木)

< 受講登録期間 > 4月12日(金)～5月16日(木)

※受講登録期間は、試聴期間の1週間後からになりますのでご注意ください。

① 授業の試聴

授業を試聴し、受講する授業を決定してください。

- ・試聴する方は[「4-1. 受講届」](#)を印刷し、受講窓口で「リボン(黄色)」を受け取り、試聴期間中は教員に見えるように付けてください。「受講届」は受講窓口にも用意があります。
- ・講義室には直接お入りください。
- ・[「5-1. シラバス\(授業内容の紹介\)」](#)(閲覧可能:4月1日～)が確認できますので、参考にしてください。検索方法は、[「5-2. シラバスの検索方法」](#)をご覧ください。

② 教員の承認

受講する授業を決定したら、受講届に必要事項を記入し、授業担当教員へ直接提示して承認の印(サイン)をもらってください。

- ・授業の後などに、ご自身でご提示ください。

③ 受講料納付・受講登録

受講登録期間に各キャンパスの受講窓口(3ページ)で、受講料を納付し受講登録してください。

- ・受講料の納付は、受講するキャンパスごとになります。
- ・受講登録に必要な書類等は、下記をご確認ください。
- ・受講登録期間終了後の試聴、受講登録は、受講届に教員の承認の印(サイン)がある場合も認めません。

【受講登録に必要な書類等】

- ・[「4-1. 受講届」](#)(担当教員の承認印があるもの)
- ・受講料 1授業 9,400円 (一部例外あり)
- ・身分証明書(運転免許証, 保険証, パスポート等)
- ・受講証用写真(縦4cm×横3cm)1枚 (6ヶ月以内撮影)

④ 受講証の交付

受講登録完了後、受講証をお渡しします。来学の際は携帯してください。

各期において複数の授業を受講する場合でも、受講証は1枚のみの発行となります。そのため複数の授業を受講する手続きの際、既に受講証を受領している場合はご提示ください。

■ e-Learning「eALPS」(イーアルプス)を利用する授業

授業によっては、関連した資料や参考文献の紹介と配付、質疑応答、諸連絡等をインターネットを利用した「信州大学 eALPS」上で行うものがあります。

「eALPS」を利用する場合は、受講登録後に申請することができますので、[「6. eALPS 利用申請書」](#)を印刷し、受講窓口に提出してください。登録には、多少の日数がかかる場合があります。

◎ オンライン授業の場合 (対象授業は以下の3授業。)

【人文学部】

登録コード	授業名	担当教員氏名	曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度
L1120100	哲学・思想論概論 I	篠原成彦 三谷 尚澄	月4	後半: 経第3	3	A
↑備考 前半:1~8回 三谷尚澄 オンデマンド授業(非同期型) 後半:9~15回 篠原成彦 対面授業						
L1330300	文化情報論特論 I (心理学統計法)	菊池 聡	火1	初回: 人 212	2	B
↑備考 初回対面授業, 2回目以降オンライン授業(同期型)で予定。 初回授業は指定した教室で行うため、必ず教室に集まること。 授業の実施については、さまざまに変更が予測されるために、eALPS上の掲示を必ず確認すること。						
L2960600	書道芸術 I	大島 武	月3 月4	人 2	3	A
↑備考 13,400円 1回目はeALPSでの課題提出のみのため、可能な方は、eALPSでの課題提出をお願いします。2回目は休講。3回目以降は対面授業。初めにeALPSを使用するため、オンライン授業と同じ受講手続き(6ページ)で、3月13日までに応募をしてください。						

「非同期型オンライン」・・・オンライン上の資料や動画等にアクセスし、自分のペースで閲覧・視聴する方法です。教員と受講生が同時刻にオンラインでやり取りする方法ではありません。

「同期型オンライン」・・・設定している授業の時間に、オンラインで教員と受講生がやり取りし受講をする方法です。

e-Learning システム「eALPS」を利用したオンライン授業になります。インターネットを利用するため、**ご自身でインターネットができるパソコンと場所を用意しアク**

セスする必要があります。

「eALPS」に授業（動画、PDF 資料等、形式は授業によって異なる。）を掲載しますので、「eALPS」にログインし受講してください。

初回から「eALPS」の利用可能とするために、受講登録期間を授業開始前に設定します。試験期間は設けませんので、過去の「[シラバス（授業内容の紹介）](#)」（18 ページ）を参考にご応募ください。

「eALPS」の詳細は、「e-Learning「eALPS」を利用する授業」（5 ページ）をご確認ください。

なお、パソコンの使用や操作方法、インターネット通信機器の接続や使用等に関することについては、ご自身で対応をお願いします。

① 応募方法

メールの件名は「市民開放授業申込み」として、以下の【必要事項】を明記の上、「shimin@shinshu-u.ac.jp」宛にお送りください。

こちらにメールが届きましたら、3 営業日以内に応募を受付した旨の返信をします。届かない場合はご連絡をお願いします。

【必要事項】

①郵便番号と住所 ②氏名 ③電話番号 ④メールアドレス（携帯電話以外で連絡が取れるもの）④希望授業

- ・メール以外による受付はしません。
- ・1 授業につき、一人1 通にしてください。
- ・必要事項の記載がないものは、無効となる場合があります。

応募期限 2024年3月13日（水）（必着）

② 受講者の決定

応募多数の授業の場合は抽選で受講者を決定し、結果は応募者全員に3月22日（金）までに郵送でご連絡します。

③ 受講料納付・受講登録

受講決定者は、**3月25日（月）～3月27日（水）**の間に総合窓口（3 ページ）で、受講料を納付し受講登録してください。授業開始前になりますのでご注意ください。

- ・受講登録に必要な書類等は、下記をご確認ください。

【受講登録に必要な書類等】

- ・[「4-2. 受講届」](#)（印刷し、記入済みのものをご持参ください。）
 - ・[「6. eALPS 利用申請書」](#)（印刷し、記入済みのものをご持参ください。）
- 申請することで、「eALPS」が利用できるようになります。

※「受講届」・「eALPS 利用申請書」は、受講窓口にも用意があります。

- ・ 受講料 1 授業 9, 400 円 (一部例外あり)
- ・ 身分証明書 (運転免許証, 保険証, パスポート等)
- ・ 受講証用写真 (縦 4 cm×横 3 cm) 1 枚 (6 ヶ月以内撮影)

④ 受講証の交付

受講登録完了後、受講証をお渡しします。来学の際は携帯してください。

各期において複数の授業を受講する場合でも、受講証は 1 枚のみの発行となります。

Ⅲ 受講に際して

■ 試験、修了証について

- ・ 受講のための検定試験はありませんので、授業内容や難易度をご確認のうえお申し込みください。
- ・ 受講を証明する修了証を希望される方は、出席日を記入した「[7. 受講修了証発行願](#)」を印刷し、学期終了時に受講窓口に提出してください。修了証の発行には、原則として試験期間を除く授業日数の 2/3 以上の出席が必要となります。オンライン授業の方は、動画等を視聴した日を記入してください
- ・ 受講生は原則として定期試験を受ける必要はありません。
- ・ 市民開放授業の受講生に、単位認定は行いません。単位認定をお考えの場合は、「科目等履修生」という別の制度がありますので、料金その他詳細に関しては、各学部の学務担当係までお問い合わせください。

■ 図書館の利用

図書館の利用については、各キャンパスにより対応が異なります。
詳細は受講者に後日お知らせします。

■ 休講情報等

休講、補講、講義室変更等の連絡は、[「8-1. キャンパス情報システム」](#)・公用掲示板によって行いますので、必ずご確認ください。キャンパス情報システムの利用方法は、[「8-2. キャンパス情報システムの利用手順」](#)をご覧ください。緊急の場合等はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますのでご了承ください。

なお、臨時休業日、振替授業日等が既に決まっている日がありますので、必ず[「1. 学年暦」](#)をご確認ください。

■ 授業の撮影・情報等について

授業担当教員の許可のある場合を除いて、授業の板書や投影される資料等を撮影したり、授業の内容を録音・録画することはできません。また、著作権侵害に相当する場合がありますので、授業の情報を SNS 等に投稿しないでください。

■ 受講の停止

受講にあたっては本学が行う教育及び研究に支障のないよう、教職員の指示に従って行動してください。指示に従わなかったり、受講生としてふさわしくないと判断された場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

■ 通学方法等

各キャンパス（伊那キャンパスを除く）には駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。なお、トラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねます。

■ 受講生の呼び出し等

授業中その他受講生の呼び出しには対応できかねます。また、授業中は携帯電話等の電源をお切りください。

■ 損害賠償

本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。損害が生じた場合は、賠償していただく場合があります。

■ 信州大学生生活協同組合の利用

信州大学生生活協同組合に加入し、本の割引等のサービスを受けることができます。加入には出資金が必要ですが、脱退時には全額返還されます。

■ いただいた個人情報、市民開放授業の目的以外には使用しません。

■ 障害等で受講上配慮が必要な方は、受講登録前に受講窓口へご相談ください。

■ 本学との連携協定に基づく受講者については、所属団体を通じた手続きになるため総合窓口までご連絡ください。

IV 「市民開放授業一覧」について

■ 「授業曜日・時限」

例1) 木2 : 木曜日の2時限(10:40~12:10)(教育学部は10:30~12:10)
(繊維学部は10:40~12:20)に開講します。

例2) 水1 } 週に2回授業があります。
木2 }

第1回 4/10(水) 1時限, 第2回 4/11(木) 2時限, 第3回 4/17(水) 1時限・・・

■ 講義室は学生数等の関係で変更になることがありますので、変更の情報や教員の指示にご注意ください。

- 「難易度」は、授業の内容に応じて次の三段階に区分しています。
 - 【A】：入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの
（大学1年次対象）
 - 【B】：より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学2～3年次対象）
 - 【C】：高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学3～4年次対象）

- 受講料が9,400円以外の授業については、「備考」欄にその金額を記載してあります。

<前期 市民開放授業一覧> 【受講場所】全学教育センター

登録コード	授業名	担当教員氏名	曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度	備考	
G2B40101	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	三谷 尚澄	金1	共71	3	A	<p>【追記:2/26】</p> <p>通常、授業は90分で行われますが、「G2B40101～G2B60305」の初回授業(4/10～16)は混雑を避けるため二部制(40分×2セット)で行います。</p> <p>第一部・第二部ともに同じ内容であり、どちらを受講しても構いません。</p> <p>詳細は22ページをご覧ください。</p> <p>◆対象授業 「G2B40101 「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学」 ～ 「G2B60305 人体の構造と働き」の20授業のみ。</p> <p>この他の授業は、二部制では行われません。</p>	
G2B40401	謎解き・日本語の歴史	山田 健三	木4	共12	3	A		
G2B40406	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	坂口 和寛	金1	共13	3	A		
G2B40411	雑学から始める日本語学	中澤 光平	木3	共56	3	A		
G2B40604	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	松山 紀里子	火5	共43	3	A		
G2B40613	社会学入門:社会とのかかわり方	松宮 慎治	火5	共42	3	A		
G2B40901	日本国憲法	成澤 孝人	月3	共20	3	A		
G2B40909	法学入門	弘中 章	月5	共20	3	A		
G2B41106	ドイツ語圏の文化(社会事情)	松岡 幸司	火2	共62	3	A		
G2B41112	国際理解と多文化共生を考える I	佐藤 友則	火5	共20	3	A		
G2B50306	生活の中の化学	勝木 明夫	木2	共13	3	A		
G2B50308	学びなおし化学	伊藤 冬樹	金3	共13	3	A		
G2B50505	地球の素材(産状・成分と色彩)	牧野 州明	火3	共13	3	A		
G2B50604	教養としての物質科学	安達 弘通	木4	共42	3	B		
G2B50704	ネットワーク社会における情報科学	湯田 彰夫	火2	共12	3	A		
G2B50705	ネットワーク社会における情報科学	湯田 彰夫	水2	共12	3	A		
G2B60107	農山村と環境	内川 義行	火3	共61	3	A		
G2B60137	自然環境政策概論	坂本 真一	水2	共13	3	A		
G2B60303	人体のしくみと生活	吉沢 隆浩	火3	共401 →共56	3	A		【3/7 変更】講義室
G2B60305	人体の構造と働き	植村 健	月1	共12	3	A		
G3E11102	微分積分学 I	高野 嘉寿彦	火3	共52	3	A		
G3E11104	微分積分学 I	永井 康史	火2	共52	3	A		
G3E11105	微分積分学 I	高野 嘉寿彦	火1	共42	3	A		

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室	受入可 能人数	難易度	備考
G3E11106	微分積分学 I	永井 康史	火1	共52	3	A	
G3E11107	微分積分学 I	飯田 洋市	火1	共51	3	A	
G3E11109	微分積分学 I	高野 嘉寿彦	木4	共71	3	A	
G3E11111	微分積分学 I	永井 康史	木1	共43	3	A	
G3E11113	微分積分学 I	高野 嘉寿彦	木1	共42	3	A	
G3E11303	線形代数学 I	高野 嘉寿彦	木2	共42	3	A	
G3E12103	力学	三澤 透	金3	共42	3	A	
G3E12111	力学	三澤 透	木2	共411	3	A	
G3E13107	一般化学 I	杉本 渉	金2	共61	3	A	
G3E14101	生物学A	竹中 將起	月5	共71	3	A	
G3E14102	生物学A	伊藤 靖夫	火1	共46	3	A	
G3E14103	生物学A	伊藤 靖夫	水1	共28	3	A	
G3E14105	生物学A	竹中 將起	月4	共71	3	A	
G3E15101	地学概論 I	吉田 孝紀	月1	共71	3	A	
T2001110	基礎数学	田中 清	火3	共42	5	A	工学部の授業ですが、講義室は全学教育センター。
T2001111	基礎数学	田中 清	火3	共43	5	A	工学部の授業ですが、講義室は全学教育センター。
T2002110	電気物理	田代 晋久	火4	共42	5	A	工学部の授業ですが、講義室は全学教育センター。
T2002111	電気物理	田代 晋久	火4	共43	5	A	工学部の授業ですが、講義室は全学教育センター。

【受講場所】人文学部 ※オンライン授業については、5ページを参照してください。

L1133700	哲学・思想論特論Ⅶ	早坂 俊廣	火2	人2	3	B	
L1134000	哲学・思想論特論Ⅹ	護山 真也	水5	人1	3	B	
L1134600	哲学・思想論基幹演習Ⅳ	三谷 尚澄	金4	人501	3	B	
L1134900	哲学・思想論基幹演習Ⅶ	早坂 俊廣	木2	人5	2	B	
L1220100	芸術コミュニケーション概論 I	金井 直	月5	人4	3	A	

登録コード	授業名	担当教員氏名	曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度	備考
L1233200	芸術コミュニケーション特論Ⅱ	金井 直	月3	人212	3	B	
L1420100	社会学概論Ⅰ	茅野 恒秀	木2	人4	3	A	
L1430300	社会学特論Ⅲ	前田 豊	水4	人212	3	B	
L1440100	社会学発展演習Ⅰ	前田 豊	水3	人203マルチメディア演習室	3	B	講義室の入室用カードが必要なため、授業前に人文学部学務係で受付してください。
L1730300	日本史特論Ⅲ	大串 潤児	金→水3	人4→人1	3	A	【3/4 変更】曜日、講義室
L1820100	東洋史概論Ⅰ	新津 健一郎	月4	人4	3	B	
L2220100	ドイツ言語文化概論Ⅰ	磯部 美穂	金2	人5	3	A	
L2220200	ドイツ言語文化概論Ⅱ	葛西 敬之	木3	人4	3	A	
L2331000	フランス言語文化基幹演習Ⅳ	吉田 正明	火3	人401	2	B	
L2420100	英語学概論Ⅰ	伊藤 尽	木4	人1	3	B	
L2430300	英語学特論Ⅲ	SPREADBURY ASH LEIGH	金2	人1	1	B	
L2431300	英語学基幹演習Ⅶ	SPREADBURY ASH LEIGH	金4	人1	1	C	
L2431400	英語学基幹演習Ⅷ	伊藤 尽	月5	人205	3	A	
L2432200	英語史Ⅱ	伊藤 尽	月4	人3	3	B	
L2520100	英語文学概論Ⅰ	田所 朱莉	木2	人1	3	A	
L2532100	英語文学特論Ⅰ	杉野 健太郎	木3	人2	3	A	
L2533500	英語文学基幹演習Ⅲ	杉野 健太郎	火2	人202	3	B	
L2533900	英語文学基幹演習Ⅶ	田所 朱莉	月3	人205	3	B	
L2620100	日本文学概論Ⅰ	渡邊 匡一	木6	人4	3	A	
L2620300	日本文学史Ⅰ	速水 香織	水3	人4	2	A	
L2720100	日本語学概論Ⅰ	中澤 光平	木1	人4	3	A	
L2720300	日本語史Ⅰ	山田 健三	木2	人212	3	A	
L2820100	日本語教育学概論Ⅰ	坂口 和寛	火1	人5	3	A	
L2830600	日本語教育学特論Ⅵ	坂口 和寛	火2	人5	3	B	

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室	受入可 能人数	難易度	備考
L2961200	古典語 V	護山 真也	火1	人1	3	B	
L2961600	英語ライティング I	GRAY DAVID JOHN	木1	人204	3	A	
L2961801	英語コミュニケーション初級 I	VAN DEN BERGH PETER CHARLES	月3	人206	3	A	
L2962000	英語コミュニケーション中級 I	VAN DEN BERGH PETER CHARLES	月4	人206	3	B	
L2962400	ドイツ語コミュニケーション中 級 I	磯部 美穂	月2	人204	3	A	
L2962600	ドイツ語コミュニケーション上 級 I	磯部 美穂	火1	人204	3	B	
L2963200	中国語コミュニケーション中 級 I	中島 暉	木2	人201	3	B	
L2963400	中国語コミュニケーション上 級 I	LI DANDAN	水2	人202	3	C	
L2963600	英米文化事情 I	VAN DEN BERGH PETER CHARLES	月2	人1	3	C	
L2964100	東洋文化事情 II	島崎 朋子	月5	人5	3	B	
L2960600	書道芸術 I	大島 武	月3 月4	人2	3	A	13,400円

↑「書道芸術 I」は、1回目はeALPSでの課題提出のみのため、可能な方は、eALPSでの課題提出をお願いします。2回目は休講。3回目以降は対面授業。初回にeALPSを使用するため、オンライン授業と同じ受講手続き(6ページ)で、3月13日までに応募をしてください。

【受講場所】経法学部

J1104100	マクロ経済学 I	青木 周平	水1 木2	経第2	3	B	13,400円
J2108200	経済史	吉村 信之	火4 水1	経401	3	A	13,400円
J3211300	環境と憲法訴訟	成澤 孝人	月2	経第4	3	C	
J5490200	医療経済学A	増原 宏明	火1	経第1	3	B	

【受講場所】理学部

SB405100	力学 I	中島 美帆	木4	理3	3	A	
SB518300	量子力学特論	川村 嘉春	木4	理6	5	C	
SB520200	原子物理学	川村 嘉春	月4	理3	5	B	
SE403100	系統分類・進化学 I	東城 幸治	月4	理13	3	A	
SE405200	生態学 I	高橋 耕一	水1	理12	3	B	
SE407200	分子細胞生物学 II	高梨 功次郎	木1	理7	3	B	

【受講場所】医学部保健学科

登録コード	授業名	担当教員氏名	曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度	備考
MH508100	生化学	松田 和之	月2	保多目的講義室	3	A	コロナの状況によって開放を見合わせることもあります。途中オンライン等に対応する場合があります。

【受講場所】教育学部

E9120200	神経・生理心理学	高橋 知音	木1	教N303	3	B	
----------	----------	-------	----	-------	---	---	--

【受講場所】工学部

T0051200	応用数学 I	伊藤 昇	月2	工C3-103	5	B	
T1006200	有機化学 I	奥村 幸久	木1	工W2-101	5	B	
T1008200	無機化学 I	手嶋 勝弥	金1	工C3-200	5	B	
T1010200	分析化学	新井 進	火1	工W2-101	5	B	
T1012300	化学工学	久富 隆史	月3	工C3-100	5	B	
T1013300	高分子化学	是津 信行	木5	工W2-101	5	B	
T1014200	コンピュータ化学演習	岡田 友彦 他	水2	工W2-101	5	B	
T1019300	有機化学演習	菅 博幸	月2	工C3-200	5	B	
T1026300	化学工学演習	久富 隆史	木4	工C3-200	5	B	
T0055200	電磁気学	川原 琢也	月3	工C3-103	5	B	
T1AB1300	量子化学	田中 秀樹	金2	工W2-501	5	B	
T1B01300	有機立体化学	菅 博幸	火2	工C3-301	5	B	
T1AB3300	コロイド・界面化学	酒井 俊郎	月1	工C3-200	5	B	
T1C01300	分子生物学	片岡 正和	金1	工C3-301	5	B	
T1C02300	生物有機化学	天野 良彦	火1	工C3-103	5	B	
T1C03300	遺伝子工学	野崎 功一	水1	工C3-202	5	B	
T0051201	応用数学 I	中里 亮介 他	木4	工C3-103	5	B	
T0051202	応用数学 I	中里 亮介 他	金1	工C3-102	5	B	
T0052201	応用数学 II	福田 一貴 他	金1	工C3-103	5	B	

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室	受入可 能人数	難易度	備考
T0052202	応用数学Ⅱ	福田 一貴 他	水2	工C3-103	5	B	
T2A03200	電気回路Ⅰ	番場 教子 他	火1 水1	工C3-200	5	B	13,400円
T2B08200	デジタル通信システム	笹森 文仁	月1 月2	工W2-101	5	B	13,400円
T2018209	アルゴリズム基礎	宮尾 秀俊	金3 金4	工C3-200	5	B	13,400円
T2A02200	電気磁気学Ⅱ	佐藤 光秀 他	火4 木1	工C3-103 工W1-215	5	C	13,400円
T2A05200	電子回路	宮地 幸祐	水5 金2	工C3-102 工C3-101	5	C	13,400円
T2028300	自動制御	田代 晋久	月5	工C3-301	5	C	
T2029300	電気機器Ⅰ	佐藤 光秀	火2	工C3-100	5	C	
T2026200	電気電子材料	橋本 佳男	月2	工C3-101	5	B	
T2031300	電力工学Ⅰ	佐藤 敏郎	水2	工W5-23	5	C	
T2027200	半導体工学Ⅰ	太子 敏則	月3	工C3-102	5	B	
T2B06300	情報理論	西新 幹彦	水1	工W2-101	5	C	
T2B09300	数値計算	AGUIRRE HERNAN	月4 月5	工W1-215	5	C	13,400円
T2050200	インテリジェントシステム	丸山 稔	月1	工C3-301	5	B	
T2021300	画像処理	丸山 稔 他	月2 火3	工W1-215	5	C	13,400円
T2C06300	組込システムⅠ	橋本 昌巳	金3 金4	工C3-301	5	C	13,400円
T2C04300	コンピュータネットワーク	田久 修	月3	工C3-200	5	C	
T2C05300	オペレーティングシステム	岡野 浩三	火2 水2	工W1-115	5	C	13,400円
T2054300	応用プログラミング言語	藤原 洋志	月4 火4	工C3-301	5	C	13,400円
T2055300	分散コンピューティング	和崎 克己	木1 木2	工W1-115	5	C	13,400円
T2053300	プログラミング言語論	藤原 洋志	水4 金1	工W2-101	5	C	13,400円
T2013300	電子情報職業論	劉 小晰 他	金5	工W1-215	5	B	
T2048400	数理決定論	田久 修	水3	工E3-603	5	C	
T2041400	電気電子設計製図	番場 教子	金3 金4	工C3-300	5	C	13,400円

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室	受入可 能人数	難易度	備考
T3009200	構造力学演習	近広 雄希	木1	工C3-101	10	B	
T3016200	材料基礎	林 卓哉	金1	工C3-101	5	B	
T3017300	水処理工学	清野 竜太郎 他	木1	工C3-102	5	B	
T3019200	水環境化学	清野 竜太郎	火4	工C3-102	5	A	
T3026400	環境生態学	松本 明人	水2	工C3-301	10	B	
T0051203	応用数学 I	河邊 淳	水3	工C3-101	5	B	
T0056201	解析力学	澤田 圭司	月3	工W2-501	5	B	
T3042300	コンクリート工学	小山 茂	木2	工C3-100	5	C	
T3056300	都市計画	森本 瑛士	金2	工C3-102	10	A	
T3A03300	水資源分離膜技術	竹内 健司	月2	工C3-102	10	B	
T0056202	解析力学	澤田 圭司	水2	工W2-501	5	B	
T4026300	流体力学 I	松原 雅春 他	月2 月3	工C3-202	5	B	前期(前半)。学期の前 半で終了する授業。
T4026310	流体力学 I	鈴木 康祐	月2 月3	工C3-203	5	B	前期(前半)。学期の前 半で終了する授業。
T4028200	工業材料学 I	牛 立斌	月2	工C3-300	5	B	
T4029200	材料加工学	榊 和彦	月3 →火2	工C3-301 →200	5	B	【3/13 変更】曜日・時限, 講義室
T4031200	機械設計	中山 昇 →辺見 信彦	火2 →月3	工W2-501 →工C3- 301	5	B	【3/13 変更】担当教員, 曜日・時限, 講義室
T4033300	メカトロニクス I	高山 潤也	火3	工C3-103	5	B	
T4034200	材料力学 II	松中 大介	木3	工W2-101	5	C	
T4062300	伝熱工学	杉岡 秀行	水1	工C3-101	5	C	
T0051205	応用数学 I	伊藤 昇	火2	工C3-101	5	B	
T5003200	建築計画	寺内 美紀子	木2	工C3-103	5	B	
T5004200	日本建築史	梅干野 成央	水4	工C3-103	5	B	
T5006200	建築環境工学 I	中谷 岳史	金2	工C3-300	5	B	
T5008300	建築設備 I	高村 秀紀	火1	工C3-300	5	B	

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室	受入可 能人数	難易度	備考
T5010200	建築エネルギーマネジメント	高村 秀紀	水2	工C3-100	5	B	
T5012200	建築構造力学 I	諏訪田 晴彦	水1	工C3-300	5	B	
T5017300	鉄筋コンクリート構造	松田 昌洋	月3	工C3-300	5	C	
T5A04300	都市計画史	佐倉 弘祐	木3	工W5-21	5	B	
T5A07200	建築構法	松田 昌洋	水3	工C3-100	5	B	
T5B07300	美術・デザイン史	羽藤 広輔	金1	工C3-100	5	B	
T5B09300	プロダクトコーディネイト学	中谷 岳史	金 2 →金5	工W2-403	5	B	【3/13 変更】時限

【受講場所】農学部

A3207200	動物栄養学	上野 豊	木1	農26	10	A	
A3208200	家畜衛生学	平松 浩二	水2	農26	3	B	
A3212300	アニマルウェルフェア科学	竹田 謙一	水3	農23	5	B	
A3406200	森林経営・経済学	三木 敦朗	水3	農26	3	A	
A3409200	木材組織学	安江 恒	火1	農24	5	B	
A3411300	ティンバーエンジニアリング	末定 拓時	水1	農24	3	B	

【受講場所】繊維学部 ※授業時間が変更になっていますので、ご注意ください。(2ページ)

F3B52820	工業材料学	KIM ICKSOO	月1	織34	2	B	100分授業 14回
F3D50920	生化学 I (応生)	野川 優洋	木2	織28	2	B	100分授業 14回
F3D52230	発生生物学	高島 誠司	金1	織26	2	B	100分授業 14回

過去の情報になりますので、ご注意ください。

登録コード	L1120100	開講年度	2023				
担当教員	篠原 成彦	副担当	三谷 尚澄				
授業科目	哲学・思想論概論 【EA】						
英文授業名							
授業タイトル	西洋思想入門						
単位数	2		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	
講義室		読替科目					
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】 自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			・代表的な哲学の問題と真剣に向き合うことを通じて、常識的思考が陥りがちな硬直状態を抜け出し、虚心にこの真相を突きとめようとする視点・態度を獲得する。			
	【2022年度以前加付対象】 過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			・代表的な哲学の問題を批判的に検討することを通じて、他者の受け売りではない自分独自の思考を練り上げることができるようになる。			
授業の達成目標	2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】 人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			・代表的な哲学の問題と真剣に向き合うことを通じて、常識的思考が陥りがちな硬直状態を抜け出し、虚心にこの真相を突きとめようとする視点・態度を獲得する。 ・代表的な哲学の問題を批判的に検討することを通じて、他者の受け売りではない自分独自の思考を練り上げることができるようになる。			
授業の概要	<p>授業の前半では、i)「コスモポリタニズム」という大テーマを導きの糸に採用しつつ、ii)現代社会におけるさまざまな倫理的・政治的問題を取り上げると共に、iii)価値・道徳・文化・アイデンティティ・他者への善意といった倫理学上の主要概念に関する考察を行う。</p> <p>授業の後半では、「心」、「因果」、「自由」など、哲学的・思想史的に重要な問題を取り上げる。原則として、入門・概説レベルの内容を講義形式で紹介する。</p>						
授業計画	<p>第1回：ガイダンス 第2回：「コスモポリタンの思想」は死んだのだろうか？（三谷） 第3回：「対話」と「共生」の倫理学を始めてみる（三谷） 第4回：「普遍的道徳」なんて存在するのだろうか？（三谷） 第5回：倫理において「原則」は役に立つのだろうか？（三谷） 第6回：文化的純粋主義に反対し、「混交/混ぜこぜ」を称賛する（三谷） 第7回：宗教的原理主義者たちの何が問題か（三谷） 第8回：「見知らぬ他者たち」は道徳的に重要なのだろうか？（三谷） 第9回：物心二元論と物理主義（篠原） 第10回：エネルギー保存則と物理現象の因果的閉包性（篠原） 第11回：クオリア（篠原） 第12回：相互作用的二元論、並行論、随伴現象説（篠原） 第13回：物心二元論のゆくえ（篠原） 第14回：物理主義と自由（篠原） 第15回：自由と罪（篠原）/ 授業アンケート 定期試験（レポート及び課題）</p>						
成績評価の方法	前半についてのまとめレポート（5割）と後半の授業で与えられる小テスト形式の課題（5割）をあわせて、[1] 授業で扱った哲学的・思想史的問題についての理解、[2] 論理的・批判的に問題を吟味・検討する能力、[3] 問題を明瞭に整理して伝達する能力を総合的に評価する。						
成績評価の基準	レポート課題および小テスト形式の課題に対し、(i)適切なまとめと建設的かつ説得的な論点が記述できていれば「卓越している」。(ii)適切なまとめと説得的な論点が記述できていれば「かなり上にある」。(iii)整合的なまとめと十分に妥当な論点が記述できていれば「やや上にある」。(iv)瑕疵のないまとめと妥当性の認められる論点が記述されていれば「水準にある」。						
事前事後学習の内容	配布された資料を熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。また、授業で取り上げられたテーマについて自分なりに熟慮し、仲間たちと議論することで、ひろく「大学で人文学を学ぶことの意味」について考えを深める。						
履修上の注意	講義科目であるが、配布される資料を授業外の時間においてもみずから繰り返し読み、考える、という態度が受講者には要求される。						
質問、相談への対応	下記のオフィスアワーに対応する。 三谷 火曜日12:15～13:15 篠原 木曜日12:10～13:00						
教科書	原則として、以下のテキストを各自で入手するようにしてください。 *クワメ・アンソニー・アッピア『コスモポリタニズム/見知らぬ他者たちと共に世界を生きるための倫理』、みすず書房、2022年						
参考書	戸田山和久『哲学入門』、筑摩書房、2014年						

過去の情報になりますので、ご注意ください。

登録コード	L1330300	開講年度	2023				
担当教員	菊池 聡		副担当				
授業科目	文化情報論特論 (心理学統計法)【EA】						
英文授業名							
授業タイトル							
単位数	2			講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限
講義室	人文212講義室	読替科目					
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			統計的な手法を用いて、情報を適切に分析し表現する統計リテラシーを身につけることができる。			
	2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			さまざまな調査や実験データを、記述統計や推測統計の手法を使って適切に分析できるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			社会統計情報に対する批判的思考力と統計リテラシーを身につけることができる。			
授業の概要	<p>さまざまなデータを分析・処理し、意味のある情報へと加工、要約、表現する技術を幅広く講義する。主として社会調査や心理学研究などの具体的データを取り上げ、これらを統計的に表現・分析するプロセスに触れ、さまざまな領域でのデータ分析の考え方と情報表現の基本を概説する。これらは、文化情報論や社会学、心理学に限らず、人文学部の多くの領域に活用できる基本知識であり、広い専門分野の学生が受講できる。特にメディア情報のワナにはまらないために必要な統計的データの見方を身につけるように授業を計画している。</p> <p>基本的にEA科目として、リアルタイム・オンラインで実施する予定だが、対面での授業回も設ける。特に「初回の授業は、指定した教室で行うため、必ず教室に集まること」。授業の実施については、さまざまに変更が予想されるために、eALPS上の掲示を必ず確認すること。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報を表現し解読する基本的な知識 2. 度数分布表とグラフの表現 3. 記述統計学の基礎 各種の平均値 4. 散布度の指標 分散と標準偏差 5. 標準得点と偏差値 6. 調査データをまとめる基本 7. ピアソンの積率相関係数 8. 相関係数の解釈と疑似相関 9. 相関係数の解釈 10. 回帰現象と回帰分析 11. 確率的に母集団を推定する 12. 推測統計の基本 13. クロス表とカイ自乗検定の基本 14. クロス集計と独立性のカイ自乗検定 15. 記述統計と推測統計のまとめ、授業アンケート実施 16. 期末テスト 						
成績評価の方法	<p>学習の達成度を確認するレポート課題を複数回実施する他、授業中および期末に理解度確認のための小テストを複数回行う。これらのレポート・小テスト評価をすべて加算して成績(100%)を判定する。形成的評価によって学習の支援を行うため、総合成績に占める個別の課題の割合は、実施回数と内容によって変わる。</p>						
成績評価の基準	<p>複数の課題成績から、統計手法をさまざまな場面で完全に使いこなせる応用的な情報リテラシー能力を身につけていることがうかがえれば「卓越している」、統計手法を研究の場で適切に適用できることがうかがえれば「やや上にある」、自分の研究に十分な統計技法への理解がうかがえれば「水準にある」と評価する。</p>						
事前事後学習の内容	<p>毎週、次回の授業に向けて事前学習すべき点を指示するので、これを確実に習得すること。</p>						
履修上の注意	<p>リアルタイム・オンライン(zoom)授業で実施する予定だが、「初回の授業は、指定した教室で行うため、必ず教室に集まること」。</p> <p>受講予想人数や感染症をめぐる社会状況、信州大学の行動基準などをもとに授業方法が変更される可能性もある。実施方法については学務からの情報に注意すること。</p> <p>統計学の基本を扱う上で、高度な数学の知識は要求しないが、数学的思考に前向きに取り組む姿勢が必要になる。</p> <p>後期の「文化情報論特論」とあわせて履修すること。</p> <p>また、学生のレポートなどの提出物は、改善点などの参考にするため、実習内で互いに公開(原則として匿名公開)し、学習のための教材として利用ことがある。</p>						

質問、相談への対応	授業内容についての質問・相談は、eALPS上に仮想オフィスアワーを設ける。 その他の個別の相談内容は、担当教員・菊池のアドレス skikuch@shinshu-u.ac.jpへ。 ただし、多数の授業を担当するため、個人の識別ができないメールについては返信しない。
教科書	『入門はじめての統計解析』 石村貞夫著 2400円 東京図書 (2006)
参考書	授業中に解説

過去の情報になりますので、ご注意ください。

登録コード	L2960600	開講年度	2023				
担当教員	大島 武			副担当			
授業科目	書道芸術						
英文授業名							
授業タイトル							
単位数	2			講義期間	前期	曜日・時限	月曜, 3時限 月曜, 4時限
講義室	人文第2講義室	読替科目					
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力			東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。			
	2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。			
授業の概要	漢字について、毛筆を中心に各書体の基本から応用までを学ぶ。						
授業計画	<p>第1回：楷書と行書について（eALPSによるレポート及び硬筆課題）</p> <p>第2回：書へのいざない（書体の変遷、臨書と創作、用具用材等）、漢字仮名交じり文硬筆</p> <p>第3回：楷書の基本点画（姿勢と執筆、縦画・横画・折れ・左払い・右払い）</p> <p>第4回：楷書の基本点画（そり・はね・折れ）</p> <p>第5回：楷書の基本点画（曲がり・はね・とめ）</p> <p>第6回：欧陽詢の楷書（九成宮醜泉銘）</p> <p>第7回：虞世南の楷書（孔子廟堂碑）</p> <p>第8回：鑑賞学習（キャンパス外活動）</p> <p>第9回：?遂良の楷書（雁塔聖教序）</p> <p>第10回：顔真卿の楷書</p> <p>第11回：行草書の基本用筆</p> <p>第12回：王羲之の行草書</p> <p>第13回：隸書の基本用筆</p> <p>第14回：篆書の基本用筆</p> <p>第15回：漢字作品の創作（半紙、半切4分の1、色紙、うちわ等）、授業アンケート実施</p> <p>定期試験：なし</p>						
成績評価の方法	毎回提出する作品（鑑賞の場合はレポート）により、書道の基礎的な技術と見識が身についたかを評価する。						
成績評価の基準	提出課題の水準による。						
事前事後学習の内容	特になし						
履修上の注意	この授業は積み重ねが重要であるから、休まないことが肝要。「書道芸術」を続けて履修することが望ましい。						
質問、相談への対応	授業終了後直接またはメールアドレス：kozan_o@yahoo.co.jp						
教科書	授業内で紹介						
参考書	授業内で紹介						

【追記：2月26日】

2024年度前期の開放授業のうち、受講場所が「全学教育センター」の以下の初回授業について追加のご案内があります。

◆二部制

通常、授業は90分で行われますが、初回授業（4/10～16）は混雑を避けるため二部制（40分×2セット）で行います。第一部・第二部ともに同じ内容であり、どちらを受講しても構いません。

二部制のスケジュールは、以下の表のとおりです。

	第一部（前半40分）	移動時間（10分）	第二部（後半40分）
1時限	9:00～9:40	9:40～9:50	9:50～10:30
2時限	10:40～11:20	11:20～11:30	11:30～12:10
3時限	13:00～13:40	13:40～13:50	13:50～14:30
4時限	14:40～15:20	15:20～15:30	15:30～16:10
5時限	16:20～17:00	17:00～17:10	17:10～17:50

◆対象授業 募集案内「市民開放授業授業一覧」（10ページ）のうち20授業
この他の授業は、「二部制」では行われません。

【受講場所】全学教育センター

登録コード	授業名	担当教員 氏名	曜日・ 時限	講義室
G2B40101	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	三谷 尚澄	金 1	共 71
G2B40401	謎解き・日本語の歴史	山田 健三	木 4	共 12
G2B40406	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	坂口 和寛	金 1	共 13
G2B40411	雑学から始める日本語学	中澤 光平	木 3	共 56
G2B40604	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	松山 紀里子	火 5	共 43
G2B40613	社会学入門：社会とのかかわり方	松宮 慎治	火 5	共 42
G2B40901	日本国憲法	成澤 孝人	月 3	共 20

G2B40909	法学入門	弘中 章	月 5	共 20
G2B41106	ドイツ語圏の文化（社会事情）	松岡 幸司	火 2	共 62
G2B41112	国際理解と多文化共生を考える I	佐藤 友則	火 5	共 20
G2B50306	生活の中の化学	勝木 明夫	木 2	共 13
G2B50308	学びなおし化学	伊藤 冬樹	金 3	共 13
G2B50505	地球の素材（産状・成分と色彩）	牧野 州明	火 3	共 13
G2B50604	教養としての物質科学	安達 弘通	木 4	共 42
G2B50704	ネットワーク社会における情報科学	湯田 彰夫	火 2	共 12
G2B50705	ネットワーク社会における情報科学	湯田 彰夫	水 2	共 12
G2B60107	農山村と環境	内川 義行	火 3	共 61
G2B60137	自然環境政策概論	坂本 真一	水 2	共 13
G2B60303	人体のしくみと生活	吉沢 隆浩	火 3	共 401
G2B60305	人体の構造と働き	植村 健	月 1	共 12

発行・編集／信州大学

総合窓口：学務部学務課教務グループ

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

TEL 0263-37-2870 FAX 0263-37-3779

URL : <https://www.shinshu-u.ac.jp/general/extension-courses/>

2024年2月発行